

公表:令和8年3月23日

職員数 8名 回収数 7件 割合 87.5 %

事業所名:くるみ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	0	・テーブルをコーナーに寄せ、集中しやすい環境を設定しています。 ・朝は身支度しやすいようにロッカーの近くに水筒、連絡帳入れなどをセットし構造化を図っています。転倒防止の観点から裸足での療育を行っています。	⇒活動室が広く、走ってしまう場面があるため、エリア分けをするともに、転倒防止の面から、引き続き裸足での療育を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3	0	1	・配置基準より多くの職員を配置しています。	⇒職員の急な休みにも体制を整えられるように工夫していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2	0	1	・朝の会や食事をする場所、活動や自由遊びの場所をテーブルで区切ることでわかりやすく提示しています。	⇒食事する場所、活動する場所をテーブルなどで区切り、同じ場所ですべて活動することで、視覚的にわかりやすくしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	2	0	0	・毎朝換気を行っています。トイレや活動室は毎日清掃し、活動中は安全に過ごせるように余分なものを置かないように心がけています。	⇒活動室やトイレなどは毎日清掃し清潔で心地よく活動できるように心がけています。夏季は虫などが出ることもありますが、お子さんたちが安心して過ごせるように駆除するなど早目の対策をしていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	0	1	・日々の業務を検証しPDCAサイクルに基づいて職員間で検討を行っています。	⇒引き続き業務の効率化を図りながら、PDCAサイクルを継続していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	2	・2026.2に保護者等向け事業所評価を実施しました。	2026.2に実施した保護者向け事業者評価をもとに、保護者の意向を把握し、今後の業務改善につなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	1	・2026.2に保護者等向け事業所評価を実施しました。	⇒2026.2に実施した事業所向け・保護者向けの評価を集計しホームページで公表していく予定です。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	3	3	・現在は行っていません。	⇒今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	0	1	・子ども支援部会GSVや法人内外部の研修に参加しました。内部研修として、ジョブメドレーアカデミーを取り入れ、年間を通して研修を行っています。	⇒内外部の研修に参加するとともに、内部研修(ジョブメドレーアカデミー)等を積極的に利用し研修を行い、職員間で情報の共有をしていく予定です。
適	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	2	・保護者の方から聞き取りを行い、事業所の様子と合わせてアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。	⇒定期的に保護者から面談を通して聞き取りを行います。また日々の支援の中から今後の課題を分析し、保護者と共通理解のもと個別支援計画を作成していく予定です。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	1	・標準化されたアセスメントツールを使用しています。	⇒お子さんの状態に応じて、適応状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用していきます。

切な 支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	3	・ガイドラインに沿ってお子さんの支援に必要な項目を選択し個別支援計画を作成しています。	⇒ガイドラインに沿ってお子さんの支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を設定することで個別支援計画を作成していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	1	・児童発達支援計画を基にその日に行う課題について、それぞれのお子さんの発達に沿った活動内容になっているかを職員間で確認できるように朝の打ち合わせを行っています。	⇒支援計画に沿って活動していくために、支援前の打ち合わせ、支援後の振り返りを丁寧に行っていく予定です。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	0	・大まかなプログラムは中心となる職員が作成し、会議の中で立案しています。	⇒プログラムについては会議を開催しチームで立案していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	0	・運動課題、手先課題、ルールのある遊びなどを組み合わせることで固定化しないように工夫しています。	⇒1年間を通して様々な活動ができるように、チームで立案することで固定化しないよう工夫していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	1	・集団活動を中心にプログラムを作成し、手先課題や自由遊びの中でのやり取りから、必要に応じて個別の支援を行っています。年中・年長児においては就学準備として、午後の時間帯に個別の療育を行っています。	⇒お子さんの状況に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせることで個別支援計画を作成できるようにしていきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	0	・朝の打ち合わせを行い支援内容や役割分担について確認を行っています。	⇒朝、必ず打ち合わせを行い、プログラム、個々の対応の仕方をチームで確認していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	1	・支援終了後に職員間で振り返りを行い、次回に向けての気付きや改善点などの確認を行っています。	⇒振り返りの時間を確保し、気付いたことはその日のうちに職員間で共有し、次回に向けて改善できるようにしていく予定です。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	・その日のうちに、それぞれのお子さんの記録を取り、職員間で共有しています。	⇒記録の取り方を検討し、支援の検証、改善を行う時間の確保など工夫していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	2	・6か月ごとに担当職員によるモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っています。	⇒チームで共通理解しモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し作成していきます。
	関 係 機 関 や 保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	1	・サービス担当者会議は、児童発達支援管理責任者を中心に行い共通理解を図っています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	0	2	・障がい福祉課やこども家庭相談課等の関係機関と連携を図っています。	⇒継続して関係機関と連携し支援を行います。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	4	3	・医療的ケアを必要とされているお子さんの利用はありません。	

保護者との連携関係機関や保護者との連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0	4	3	・医療的ケアを必要とされているお子さんの利用はありません。	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	1	1	・在宅から幼稚園、保育園、他事業所へ入園するにあたり、保護者の希望で相談を行いました。	⇒入園前後に保護者からの要望をもとに移行支援として情報の共有を行っていきます。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	1	1	・小学校入学にあたり、教育センターとの情報共有を行いました。卒園前に支援シートを作成し、就学時に活用できるように保護者に渡しています。	⇒引き続き保護者からの要望をもとに移行支援として情報の共有を行っていきます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	0	1	・法人内の相談事業所、児童発達支援センターと連携し助言を受けています。	⇒引き続き、必要に応じて相談事業所、児童発達支援センターなどの専門機関と連携していきます。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	3	・多くのお子さんは幼稚園、保育園と並行利用をしているため、各所属機関に出向き状況確認を行っています。	⇒幼稚園、保育園との連携を引き続き行い、地域の公園や商業施設などで地域のお子さんと交流する機会を検討していきます。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	0	2	・こども支援部会に参加しています。	⇒必要に応じて積極的に参加していきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	2	0	2	・面談や送迎時に事業所でのお子さんの様子、ご家庭や幼稚園、保育園の様子などを伝え合い情報交換を行っています。	⇒情報交換を行うだけでなく、保護者の方と職員との間で、お子さんの状況や課題について共通理解されているかの確認をしていきたいと思っています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1	2	1	・保護者面談時に助言やご家庭での関わり方をお伝えしています。ペアレントトレーニングとしてのプログラムは行っていません。	⇒法人内でやっているペアレント・トレーニングに参加し、保護者の方へどう還元できるか検討していきます。
保護者へ	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	1	・利用契約時に運営規程に基づいて、利用者負担等について説明しています。	⇒運営規程に基づいて利用者負担等について丁寧な説明を心掛けていきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	0	1	・ガイドラインに沿って「個別支援計画書」を作成し、面談等で提示しながら、支援内容の説明を行い、同意を得ています。	⇒支援のねらいと支援内容について丁寧に説明することを心掛けて行きます。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	2	・定期的な面談とニーズに応じてその都度相談や助言を行っています。	⇒定期的な面談を行い、いつでも相談しやすい環境を作り、必要な助言と支援が行えるようにしていきます。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	0	2	・令和7年度は9・10月・3月に参観・保護者の交流会及び勉強会を計画し実施しました。	⇒保護者からの意見を参考に、年2回程度の保護者参観・保護者交流会及び勉強会を開催していく予定です。

の 説 明 責 任 等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	2	・相談や申し入れの窓口を設定し、利用契約時に保護者に周知し、相談や申し入れがあった際は迅速かつ適切に対応しています。	⇒相談しやすい環境を整え、迅速にかつ適切に対応していきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	1	・行事や活動については、LINE、マチコミ、くるみ通信を発行し、日々の活動を分かりやすく発信しています。	⇒マチコミ、LINE、くるみ通信を活用し、活動予定や行事等について発信していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0	0	・個人情報の取り扱いには注意をし、事業所内の鍵のかかる書庫に保管しています。	⇒鍵のかかる書庫に保管し、取り扱いには十分注意をしていきます。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	1	・利用されているお子さんと、わかりやすい言葉やカード等を用いて意思の確認など行っています。保護者の方には情報伝達のために、LINEやHPにて写真でお伝えしています。	⇒利用されているお子さんと、意思の疎通ができるように、絵カードなどを用いて工夫していきます。保護者にはマチコミ、LINE、くるみ通信、書面や面談を通して情報伝達を行っていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	3	4	・開所時は、地域の方にご挨拶に伺いました。住民の方を招待する行事は行っていません。	⇒お散歩の時などに、地域の方と挨拶を交わす等交流を図る機会を設けていきます。
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	4	0	1	・法人内のマニュアルを元に職員間での情報の共有を行ってきました。	⇒事業所に応じた緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、周知を検討し、発生を想定した訓練を実施していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2	0	1	・災害・地震の発生を想定した避難訓練を実施しました。年長児を対象に避難場所まで経路を確認する訓練も実施しました。	⇒定期的に避難訓練を行い、災害に備えて必要な事の検証を行っていきます。今後大規模災害についての訓練等の検討を行っていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	3	0	1	・契約時の聞き取りの際に、お子さんの状況を確認させていただいています。子ども家庭相談課に情報提供を依頼し、相談経過を伺い、既往歴の確認を合わせて行っています。	⇒契約時に聞き取りをさせていただき、服薬や予防接種、てんかん等お子さんの状況を確認をさせていただきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	2	3	0	2	・保護者の方に医師の指示書を提出していただき、対応の仕方を確認しています。令和7年度は対象となるお子さんはいませんでした。	⇒契約の際に確認し、対応の必要な方には確認をさせていただきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	1	・毎日の振り返りの際に全職員で確認を行っています。	⇒継続して振り返りの中で確認を行い、改善できるところは迅速に対応できるようにしていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	1	・内部研修(ジョブメドレーアカデミー)の活用や法人内の研修に参加し、職員間で共通理解をしています。	⇒研修の機会を確保し、適切な対応ができるようにしていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	0	2	2	・身体拘束の必要なお子さんはいませんでした。	⇒必要なお子さんについては十分に説明を行い個別支援計画に記載していきます。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。